

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性			
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 （千円）							予算額 （千円）	決算額 （千円）	
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	①	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標	16	公園	16	公園	—	152,591	58,000	107,821	6,825	順調	ワークショップの開催、計画にもとづく公園整備ともに、概ね計画どおりに進んでいるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 まちづくり協議会をはじめ地域住民とのワークショップを通じて、子育てなどの地域ニーズを反映した公園整備を行うとともに、計画に沿って進捗しており、着実に子育て支援の推進に寄与しているとして、「順調」と判断。 【課題】 限られた機会及び予算の中でさまざまな年齢層の住民の意見を集約し、いかにして再整備計画に反映していくかが今後の課題である。	今後も継続して、子どもや子育て世代をはじめ幅広い年齢層の利用者から意見を聴取し、地域のニーズを反映した公園整備に取り組む。
I-3-(1)-② 教育関係施設の連携による人材育成	2	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通じて命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	—	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	【評価理由】 令和3年度に比べ参加枠を増加させることができ、環境保全意識向上の機会を拡大できたため、「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	①	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	河川毎に計画している降雨（1時間で50～70mm程度）に対応できる状態（R15年度）	1,900,733	2,458,400	2,589,096	78,250	順調	治水対策の目標（河川整備率）に向け、河川の改修事業が予定どおり進んでいることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進できており、災害対策推進に寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。		

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)							
4	①		旦過地区再整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川（旦過地区）の治水安全度向上	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	旦過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態（R13年度）	316,685	1,036,628	501,948	117,800	順調				
								実績	—	—										達成率
5	①		豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	水環境課	普通河川等の流下能力向上のための改修事業、護岸の長寿命化を行い、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	浸水被害の低減	—	目標	単年度目標 設定なし	単年度目標 設定なし	H30年豪雨で被災した河川の浸水対策が完了している状態（R7年度）	416,949	490,000	627,099	21,300	順調				
								実績	—	—										達成率
II-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	6	⑤ ①	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	累計 24公園 (R2年度)	目標	2 公園	1 公園	累計 30公園 (R5年度)	24,485	11,000	24,557	3,650	大変順調	【評価理由】 個人の健康づくりを支える環境の整備が目標を大きく上回って実施できており、「大変順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康増進に配慮した健康遊具について認知度を高めていく必要がある。	大変順調	【評価理由】 個人の健康づくりを支える環境の整備が目標を大きく上回って実施できており、「大変順調」と判断。 【課題】 高齢者の健康増進に配慮した健康遊具について認知度を高めていく必要がある。	今後は、必要に応じて整備を検討する。
								実績	2 公園	3 公園										
III-1-(1)-③ まち美化活動の拡充	7	①	ボランティアネットワークの推進（道路サポーター）	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数	—	目標	240 団体	245 団体	250団体 (R5年度)	18,613	17,046	16,613	9,400	順調	令和4年度の実績は、254団体であり、中期目標で設定した250団体を上回っているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 目標の団体数を概ね達成しており、まち美化活動の拡充に寄与しているため、「順調」と判断。 【課題】 団体数の増加・維持に向けた取組を推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
								実績	237 団体	254 団体										

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度		R4年度		中期 目標	決算額 (千円)							予算額 (千円)
8	①		ボランティアネットワークの推進（公園愛護会）	公園管理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	目標	1,160	団体	1,160	団体	1,160団体 (毎年度)	43,451	42,616	42,627	18,135	順調	コロナ禍や高齢化により解散する団体はあるものの、全体としては目標の団体数を概ね達成しており、「順調」と判断。		
							実績	1,150	団体	1,121	団体									
9	①		ボランティアネットワークの推進（河川愛護団体）	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数 ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	目標	73	団体	67	団体	67団体 (R5年度)	2,122	2,634	2,100	440	順調	概ね目標に近い団体数が活動しており、「順調」と判断。		
							実績	61	団体	60	団体									
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	564団体 (R2年度)	目標	628	団体	564	団体	564団体 (R7年度)	52,548	56,560	50,370	23,150	順調	【評価理由】 複数の施策により、魅力ある生活空間づくりを提供できているため、「順調」と判断。 【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の維持につながる取組が必要である。	令和5年度に引き続き、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、幅広い年齢層の利用者に向けた魅力ある生活空間づくりに取り組む。
実績	587	団体	588	団体	達成率	93.5 %	104.3 %													

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度 決算額 （千円）	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 （千円）						
11	①		地域に役立つ 公園づくり事業	みどり・ 公園 整備 課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園 づくり事業による 整備公園数	—	目標 16 公園	16 公園	—	152,591	58,000	107,821	6,825	順調	ワークショップの開催、計画にもとづく公園整備ともに、概ね計画どおりに進んでいるため、「順調」と判断。		
12	①		都市再生整備 計画（公園）	緑政 課	東田地区では、2018年度から5年間で「東田ミュージアムパーク創造事業」を実施し、地域における文化観光を推進している。また、2022年春に、新たに新科学館や大型商業施設がオープンした。これを機に官民が連携し公共空間の魅力向上を図るとともに、居心地よく歩きたくなる環境を整備し、観光交流拠点の中核に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。	公園利用者の利便性向上及び魅力的な緑地空間の創出	—	目標 —	—	—	—	10,000	3,600	5,400	順調	東田大通り公園の整備に向け、令和4年度は、自治会やまちづくり協議会などの地元関係者と意見交換を重ね、基本計画の策定及び測量を実施した。工事着手に向けて着実に進展していることから、「順調」と判断。		

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度 決算額 （千円）	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度	R4年度		中期 目標	予算額 （千円）							決算額 （千円）	
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行 できる身近な 道路の整備	13	①	バリアフリー のまちづくり	道路 計画 課	高齢者や障害者 など、誰もが安全 で快適に通行でき るよう、バリアフ リーのまちづくり を進める。具体的 には、歩道の新設 や拡幅、段差解 消、視覚障害者誘 導用ブロックの設 置などのバリアフ リー化を行う。	主要駅周辺地区の 主要経路の整備率	—	目標 100 %	実績 95 %	達成率 95.0 %	100% (R7年 度)	834,167	711,500	905,226	26,150	順調	主要駅周辺のバリアフリー 化については、街路事業等 で事業中の路線など、用地買 収を含むものが残っており、 短期的な対策が困難となっ ているが、その他路線にお ける歩道整備を積極的に実 施した。達成率は、95%で あることから、「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 関係団体と協議しながら、 通学路の改善要望対応や、 子どもから高齢者まで誰 もが安心して通行できる 身近な道路の環境整備を 概ね計画通りに推進出来 ており、「順調」と判断。	今後も誰もが安全で快 適に通行できる環境の整 備を推進する。
	14	①	通学路の安全 対策	道路 計画 課	登下校中の児童 が交通事故に巻き 込まれず、安全に 安心して通学でき る環境を整えるた め、教育委員会や 学校関係者、警察 と一体となって、 さらなる通学路の 安全対策を推進す る。	通学路の危険箇所 における対策完了 箇所数	—	目標 —	実績 53 箇所	達成率 —	—	1,002,011	944,500	988,267	26,150	順調	通学路交通安全プログラ ムに基づき、例年同様、 改善希望箇所への対策 を概ね行ったことから、 「順調」と判断。	順調	【課題】 バリアフリー道路等の ハード面の整備を推進 するとともに、取組の 周知等のソフト面の 施策の充実も図る必要 がある。	
Ⅴ-1-(2)-① 都心のぎわ いづくり	15	①	小倉駅・黒崎 駅前の賑わい づくりの推進	道路 計画 課	北九州市の玄関 口となる小倉都心 部と黒崎副都心部 の駅前において、 魅力的な都市環境 の創造につながる 道路環境整備を行 い、まちの賑わい を推進する。	歩いてみたくなる 歩行空間を創出	—	目標 —	実績 —	達成率 —	歩いてみたくなる歩 行空間の創出	276,700	646,000	493,218	61,500	順調	小倉駅南北公共連絡 通路のリニューアルが、 概ね計画通りに進捗 しており、「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 都心のぎわいづくりに 資する小倉駅南北公 共連絡通路の整備及 び旦過地区のまちづ くりに伴う河川整備 等については、概ね 計画通りに推進出来 ており、「順調」と判 断。 【課題】 取組を継続する必要 がある。	今後とも計画的に事 業を進める。
	16	①	旦過地区再 整備事業	神嶽川 旦過 地区 整備 室	長年市民に親し まれている旦過市 場の魅力向上と、 市場に隣接する神 嶽川の治水安全度 の向上のため、河 川事業と一体とな った旦過地区の再 整備を推進する。	神嶽川（旦過地 区）の治水安全度 向上	—	目標 単年度目標 設定なし	実績 —	達成率 —	旦過地区において概 ね50年に一度発生 する降雨にも対応 できる状態(R13年 度)	316,685	1,036,628	501,948	117,800	順調	旦過地区土地区画 整理事業については、 立体換地建築物実 施設計、建物移転補 償調査、埋蔵文化財 調査及び建物移転 補償等を実施し、着 実な事業進捗が図れ ていることから、「順 調」と判断。			

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 （千円）	予算額 （千円）	決算額 （千円）							
17	①		都市再生整備 計画（道路改 築）	道路 計画 課	道路拡幅工事を 行うことで、慢性 的な交通混雑の解 消及び歩行者の安 全な通行を確保し 、都心へのアクセ ス向上を図る。	交通混雑の解消及 び歩行者通行の安 全確保	—	目標	—	—	交通混 雑の解 消及び 歩行者 通行の 安全確 保	16,830	18,000	902	15,375	順調	砂津鍛冶町線は、沿線の事 業者との協議・調整を円滑に 進めており、「順調」と判 断。			
								実績	—	—										
								達成率	—	—										
18	①		自動車専用道 路ネットワー クの整備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄 道ターミナルな ど、拠点間を結ぶ 交通・物流ネット ワークの構築や地 域間の連携・交流 促進を図るため、 環状放射型自動車 専用道路ネット ワークの整備を推 進する。	朝ピーク時の響灘 地区～東田地区間 の所要時間	43分 (H21年 度)	目標	—	—	13分 (R9年 度)	2,565,369	1,646,000	2,322,276	69,000	順調	戸畑枝光線の道路改良工事 等は概ね計画通りに進捗して おり、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強 化に向けた交通網の整備を実 施している。 戸畑枝光線をはじめとした 主要な道路の整備を概ね計画 通りに推進出来ており、「順 調」と判断。	今後も計画的に道路整備を 進める。
								実績	—	—										
								達成率	—	—										
19	①		主要な道路の 整備（恒見朽 網線など）	道路 計画 課	主要な街路・道 路事業を重点的 かつ速やかに整備 することで、市内 の渋滞対策、物流 ネットワークの強 化、地域間の連 携・交流促進を図 る。	新門司地区～北九 州空港間の所要時 間	36分 (H21年 度)	目標	—	—	28分 (R7年 度)	8,797,052	3,064,000	4,999,512	217,250	順調	道路整備が概ね計画通りに 進捗しており、「順調」と判 断。		【課題】 取組を継続する必要があ る。	
								実績	—	—										
								達成率	—	—										

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 （千円）	予算額 （千円）							決算額 （千円）
V-2-(2)-② 市民の交通利便性の向上と産業活動の支援	20	①	自動車専用道路ネットワークの整備	道路計画課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (H21年度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	13分 (R9年度)	2,565,369	1,646,000	2,322,276	69,000	順調	戸畑枝光線の道路改良工事等は概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強化に向けた交通網の整備を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主要な道路の整備を概ね計画通りに推進出来ており、「順調」と判断。 【課題】 取組を継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進める。
	21	①	主要な道路の整備（恒見朽網線など）	道路計画課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州空港間の所要時間	36分 (H21年度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	28分 (R7年度)	8,797,052	3,064,000	4,999,512	217,250	順調	道路整備が概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 橋梁、トンネル及びモノレールの都市基盤の長寿命化を概ね計画通りに推進出来ている。 また、若戸大橋と若戸トンネルの維持管理を概ね適切に実施出来ていることから、「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施するとともに、安全な道路環境を確保する必要がある。 若戸大橋については、建設後60年を経過しているため、適切な維持管理を行っていく必要がある。	今後も引き続き計画に従って長寿命化を推進するとともに、安全な道路環境を確保する。
V-3-(1)-② 都市基盤・施設の適正な維持管理	22	①	橋梁・トンネル・モノレール等の長寿命化への計画的な取り組み	道路維持課	市内には、約2,000の橋梁と39本のトンネル、総延長約9kmのモノレールがあり、高齢化・老朽化が進行していることから、予防保全の観点での長寿命化事業に取り組んでいる。 事業の実施にあたっては、施設毎に個別施設計画を策定し、5年に1回の定期点検に基づく計画的な維持管理を実施することで、市民の安全・安心を確保するとともに、トータルコストの縮減や予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命化修繕計画」 ・「北九州市トンネル長寿命化修繕計画」 ・「北九州モノレール長寿命化計画」	主要橋梁及びトンネルの健全性向上による市民の安全・安心の確保	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	全主要橋梁及びトンネルの健全性Ⅱ以上 (R9年度)	4,233,721	1,965,000	2,496,412	157,525	順調	橋梁、トンネルのリニューアル及びモノレールの長寿命化に向けた取組は、概ね計画通りに進捗しており、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 橋梁、トンネル及びモノレールの都市基盤の長寿命化を概ね計画通りに推進出来ている。 また、若戸大橋と若戸トンネルの維持管理を概ね適切に実施出来ていることから、「順調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を実施するとともに、安全な道路環境を確保する必要がある。 若戸大橋については、建設後60年を経過しているため、適切な維持管理を行っていく必要がある。	今後も引き続き計画に従って長寿命化を推進するとともに、安全な道路環境を確保する。
					インフラ構造物の長寿命化を実施による、モノレールの安全・安心な運行の確保	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	全インフラ構造物の健全性Ⅱ以上 (R8年度)										

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R3年度	R4年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)						
23	①		若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	道路維持課	若戸大橋と若戸トンネルは、若松区と戸畑区とを結ぶ本市の重要な路線である。日常の道路巡回や、有事発生時の緊急対応など適切な維持管理を実施することで、市民が安全に安心して通行できる環境を確保する。	若戸大橋と若戸トンネルの適切な維持管理による、市民の安全・安心の確保	—	目標	—	—	安全な道路環境の確保（毎年度）	100,000	100,000	100,000	22,000	順調	適切な維持管理を行い、市民が安心して通行できる環境を確保できたため、「順調」と判断。		
								実績	—	—									
24	①		若戸大橋・若戸トンネル長寿命化事業	道路維持課	若戸大橋は吊橋構造、若戸トンネルは沈埋トンネル構造といった複雑な構造を有している。このような構造物に対し、予防保全型の維持管理を実施し、維持管理費のトータルコストの縮減と予算の平準化を図るため、長寿命化修繕計画を策定するとともに、長期的視点に立った事業を推進する。	維持管理費のトータルコストの縮減や予算の平準化および予防保全型の維持管理	—	目標	—	—	健全性Ⅱ以上（R9年度）	274,133	400,000	219,150	22,000	やや遅れ	定期的な点検は計画どおり実施したが、金属片が落下する事案が発生するなど、健全性Ⅳ相当の箇所が発生したため、「やや遅れ」と判断。		
								実績	—	—									
VI-1-(2)-②	25	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000人（毎年度）	2,617	2,750	2,617	1,120	やや遅れ	教室の開催数は、令和3年度同様目標を大きく上回っているが、依然として参加者数は目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。	【評価理由】 実施回数は目標50回に対して、72回と大きく上回っているが、参加者数が目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。 【課題】 参加者数増に向け、HPなど広報活動により参加者数は増加しているが、目標の半数弱にとどまっている。	子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民が自然とふれあえる貴重な体験となる事業を実施しており、今後も継続していく。
実績	886 人	985 人	達成率	44.3 %	49.3 %														

令和4年度 行政評価の取組結果（建設局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）				R3年度 決算額 （千円）	R4年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R4年度 事業 評価	評価の理由	R4年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	R6年度予算要求に向けた 施策の方向性		
						指標名等	現状値 （基準値）	R3年度			R4年度								中期 目標	予算額 （千円）
VI-2-(1)-③ 総合的な緑 化・森林整備 の実施	26	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	564団体 (R2年度)	目標 628 団体	実績 587 団体	564団体 (R7年度)	564団体 (R7年度)	52,548	56,560	50,370	23,150	順調	市民花壇活動団体数は、目標値を達成しており、市民花壇への助成事業も、大変好評であるため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民ボランティアによる公園などでの花による美化活動を着実に推進できており、市民花壇活動を通じ、緑化の実施に寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の維持につながる取組が必要である。	街かどの花壇整備への助成や市民ボランティアの達成感をより向上させる取組などを今後も継続していく。
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	27	①	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	564団体 (R2年度)	目標 628 団体	実績 587 団体	564団体 (R7年度)	564団体 (R7年度)	52,548	56,560	50,370	23,150	順調	市民花壇活動団体数は、目標値を達成しており、市民花壇への助成事業も大変好評であるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 街かどの花壇整備や農業体験により、市民と自然とのふれあいの推進に寄与していることから、「順調」と判断。 【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の維持につながる取組が必要である。	街かどの花壇整備や農業体験など、市民にとって貴重な体験となる事業を実施しており、市民と自然とのふれあいの推進に寄与しているため、今後も継続していく。
VI-4-(1)-③ 市民と自然とのふれあいの推進	28	④	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	実績 886 人	2,000人 (毎年度)	2,000人 (毎年度)	2,617	2,750	2,617	1,120	やや遅れ	教室の開催数は、令和3年度同様目標を大きく上回っているが、依然として参加者数は目標の半数弱にとどまっているため、「やや遅れ」と判断。	順調	【課題】 市民ボランティアの高齢化が進む中で市民活動団体数の維持につながる取組が必要である。	街かどの花壇整備や農業体験など、市民にとって貴重な体験となる事業を実施しており、市民と自然とのふれあいの推進に寄与しているため、今後も継続していく。
VII-3-(2)-① 東九州地域との連携	29	①	【施策評価のみ】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建設促進	—	目標 —	実績 —	—	—	—	—	—	—	—	—	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体（福岡県・大分県・宮崎県・鹿児島県）と協力しながら、国に対して整備活動の要望を行っており、東九州地域との連携が図られているとして「順調」と判断。	今後も沿線自治体と協力・連携して要望活動に取り組む。